



朱三学校だより

特別号
学校評価特集



令和6年10月
京都市立朱雀第三小学校
校長 畠澤 啓太郎

Tel 312-3203
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s/>

学校教育目標

自ら考え行動し よりよい姿をめざして
なかまと共に力を高め合う子の育成

令和6年度前期学校評価結果をお知らせします

保護者の皆様のご協力を得て、前期学校評価アンケートを実施いたしました。「Microsoft Forms」によるアンケートで集計させていただいたのですが、保護者の皆様には、お忙しい中学校評価アンケートご理解・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なお、評価項目は、「確かな学力(学習面)」「豊かな心」「健やかな体(健康・運動・安全面)」「その他(教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子)」の4観点に基づき、各項目は「実現度(よくできている・大体できている・あまりできていない・できていない・わからない)」の5段階でお答えいただきました。

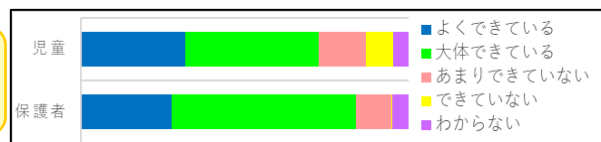
集計結果から、実現度の状況を分析し、成果や課題をご報告いたします。



<回答数について>

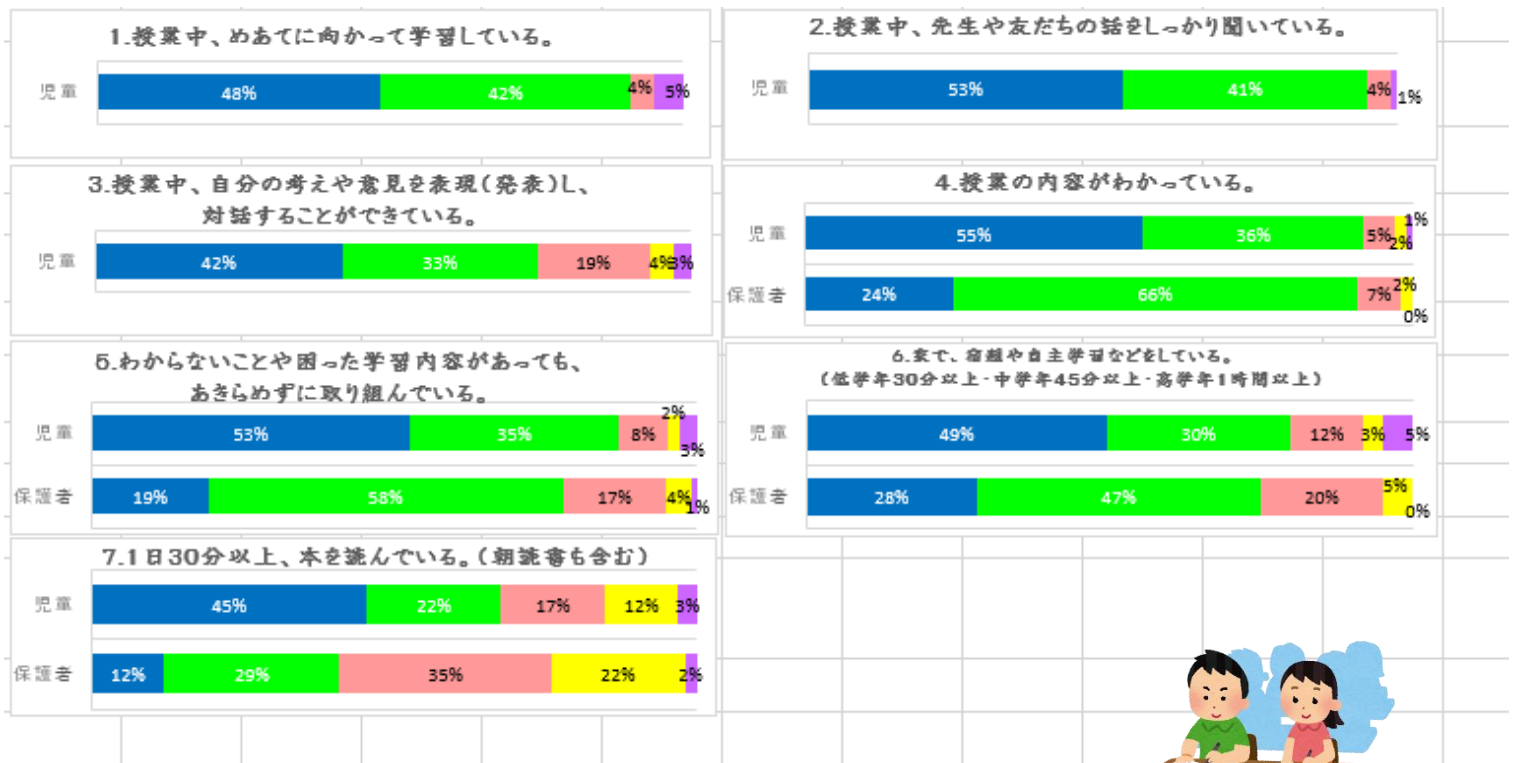
・245名の方から回答をいただきました。実施期間の児童数が311名(家庭数237)でしたので、**79%**の方のご意見をいただいたことになります。昨年度の後期より回答数が増えました。ご協力ありがとうございます。

確かな学力(学習面)



よくできている・大体できている ⇒ プラス評価
あまりできていない・できていない ⇒ マイナス評価

※上記のように捉えて考察・分析しています。
※小数点以下を四捨五入している数値です。そのため集計上、すべてを合算しても100パーセントにならない場合があります。



育成したい資質・能力 読書の時間の確保

次ページに続きます→

児童の結果を見ると、設問1「授業中、めあてに向かって、学習している」は90%、設問2「授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている」は94%、設問4「授業の内容が分かっている」は91%という高い結果が見られました。

また保護者の結果を見ると、設問4「子どもは、学習内容を理解している」は90%という高い結果が見られました。

全国的に子どもたちの学力状況を把握する「全国学力・学習状況調査」(6年生が実施)の今年度の本校の結果は、国語・算数共に全国平均・京都府平均を上回っていました。今回の結果はこれまでの6年間の学びの積み重ねの結果であります。今後も課題解決学習の実践を積み上げていきます。

設問3「授業中、自分の考えや意見を表現(発表)し、対話することができている」は児童のプラス評価が75%という結果でした。今後も以下のように授業の中で「課題解決」や「対話」の場面がある授業を実践し、「課題を解決する力」「対話する力」を充実させていきたいと考えております。

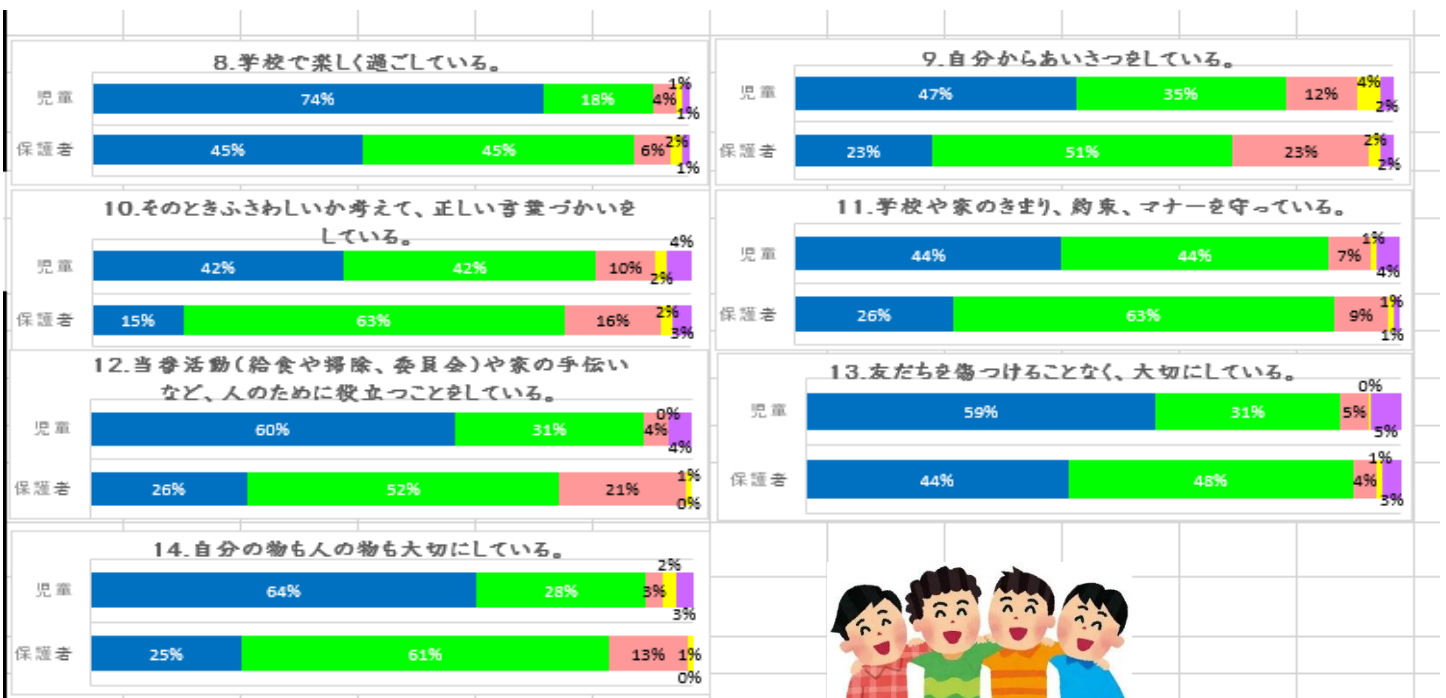
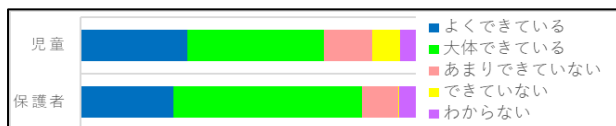
「課題を解決する力」～学習課題(めあて・学習問題)に応じた「まとめ」「振り返り」を徹底した課題解決学習の実践
「対話する力」～「言語活動」を充実させ、「対話力」を育成するための意図的・効果的な話し合い活動(ペア、グループ、集団等)の設定

設問7「1日30分以上、本を読んでいる。(朝読書も含みます。)」の項目は児童のプラス評価が67%、保護者のプラス評価が41%という結果となり、学校評価の全項目の中で一番プラス評価が低い結果となりました。また児童と保護者のプラス評価の結果にも差が見られました。

学校では毎朝8:30～8:40を読書タイムとして、全校一斉に読書活動をしています。また、学校図書館を活用した授業を行ったり、教科の学習で関連図書を選んで、授業で活用したりしています。読書をする事で、「知識」や「教養」が身につくだけでなく、「読解力」や「語彙力」、「思考力」、「文章力」、「表現力」、「想像力」、「情報収集力」など様々な力が身につきます。

放課後の子どもたちはテレビや動画をみたり、ゲームをしたり、習い事に行ったりと読書以外の過ごし方が増えています。中学、高校と進むと部活や勉強が忙しくなり、読書からさらに遠ざかります。小学校の間に読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間をとったり、自主学習で取り組んだりするなどしてご家庭でも本に親しめるような働きかけ、読書の習慣付けをしていただけるとより効果が上がると思います。

豊かな心

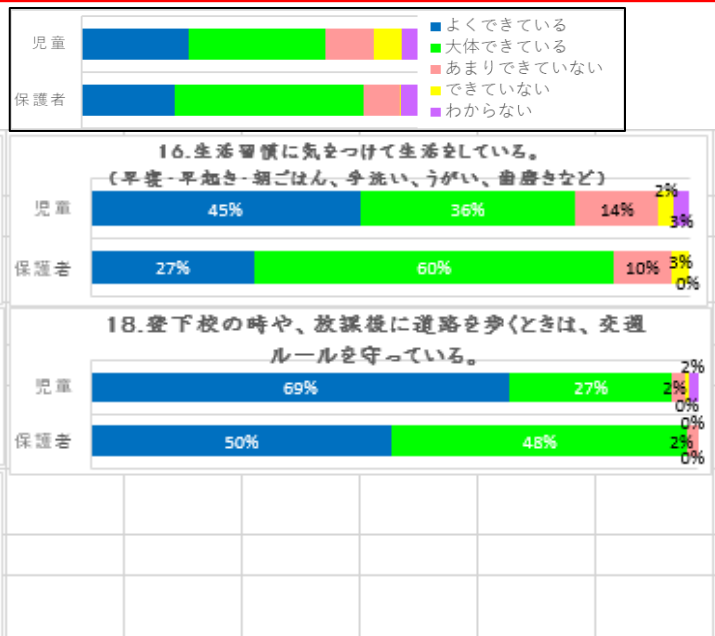
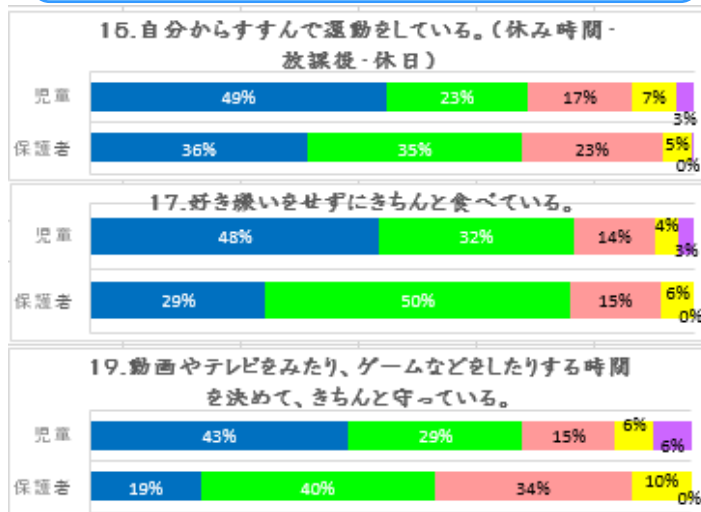


楽しい学校生活を過ごすことができるように

設問8「学校で楽しく過ごしている」、設問12「当番活動（給食や掃除、委員会）など、人のために役立つことをしている」、設問13「友だちを傷つけることなく、大切にしている」、設問14「自分のものも人のものも大切にしている」は4項目で児童のプラス評価が90%以上でした。保護者は、設問8、設問13の2項目でプラス評価が90%以上でした。その中でも設問8「学校で楽しく過ごしている。」は、児童・保護者ともにプラス評価が高いだけでなく、よくできていると回答している割合が最も高い項目でした。その一方でプラス評価を回答していない児童がいる現状もあります。今後もすべての児童が楽しい学校生活を過ごすことができるよう保護者の方と協力しながら全教職員で取り組んでいきます。

設問9「自分からあいさつしている」は、児童のプラス評価が82%、保護者のプラス評価が74%でした。昨年度の後期と比べると児童、保護者ともにプラス評価は下がり、豊かな心の項目の中において低い割合が見られました。これまでの取組により児童の挨拶をする姿は変わってきましたが「自分から」という面においては、まだできていないというのかまだ課題であります。学校生活を楽しく過ごすためにコミュニケーションは大切です。そのスタートとなるあいさつを自分からできる子どもがもっと増えるように大人の姿からも学んでほしいですね。

健やかな体（健康・運動・安全面）



時間を決めてルールを守れるように

設問18「登下校の時や、放課後に道路を歩くときは、交通ルールを守っている」は児童・保護者共に96%以上プラス評価が高い結果でした。この項目は児童のプラス評価が1番高い項目、保護者のプラス評価が2番目に高い項目でした。

設問19「動画やテレビを見たり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている」のプラス評価は児童が72%（昨年度後期70%）、保護者が59%（昨年度後期61%）と、昨年度の後期と比べると児童のプラス評価が若干上がりましたが、保護者のプラス評価が若干下がり、依然として課題のある項目の一つです。全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をする時間が短い児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られると報告がされています。

現在、児童は、1人1台タブレットを使って学習しており、学校では、情報モラルの指導をしています。スマホ依存は、自分の身体面だけでなく、精神面にも影響を及ぼします。ご家庭でも心の体の健康を守ったり、トラブルに巻き込まれたりしないために共に取組を進めていただきますようお願いいたします。昨年度のお便りにも載せましたが家庭でのルールのポイントです。参考にしてください。

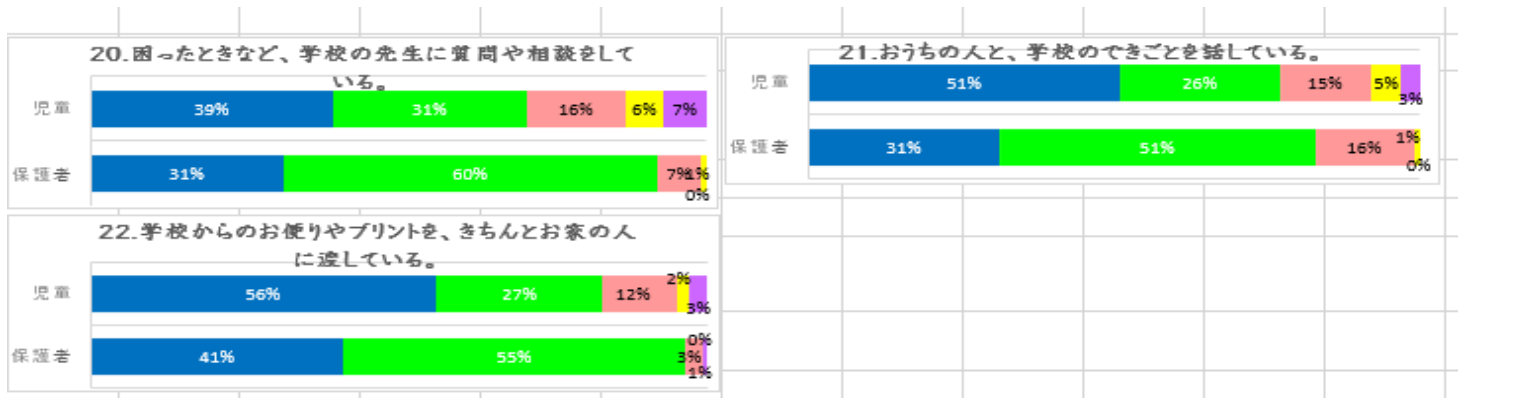
【ルールの例】 「家庭で話そう！～スマホ・ケータイ・タブレット利用のルールとマナーについて～」より

1. 1日のトータル使用時間は（ ）時間（ ）分以内とし、時間を大切にする。
2. 夜（ ）時以降はスマホ・ケータイ・タブレットの使用をやめ、（ ）に置き、自室などで使用しない。
3. 食事中は使用しない。食卓の上にも出さない。（外食時も同じ）
4. 写真・氏名・住所・電話番号など個人情報、他人はもとより自分のものでも絶対にインターネット上に公開しない。

【ルールの例】 「家庭で話そう！～スマホ・ケータイ・タブレット利用のルールとマナーについて～」より

5. SNSなどで他人を傷つける行為は絶対にしない。
6. 有料アプリや課金アイテムなどの導入の際には、事前に保護者の承諾を得る
7. トラブルや不安なことがあれば、すぐに家族・学校・大人に相談する。

その他（教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子）



困ったときに相談できるように・・・

保護者の設問20「困ったときなど、教職員に質問や相談をしやすい。」のプラス評価は91%でした。一方、同じ項目での「困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。」の児童のプラス評価は70%で、保護者と児童の結果で差が見られました。児童が自分で解決できることはうれしいですが、解決できないものもあるので、今後も児童一人一人に寄り添い、保護者の皆様と連携を図り、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様も、何かご相談されたいことがありましたら、今後ともご連絡をよろしくお願いいたします。

また、保護者の設問22「学校は、学校だよりや学級だより、HPなどで、家庭に学級の様子を伝えている。」のプラス評価は96%で保護者の全項目で一番高い評価でした。保護者の方の本校の学校教育に対する関心の高さが感じられる結果でした。今後も学校や児童の様子をHP、学校便り、学級だよりでお伝えしていきたいと思いますのでご覧ください。

自由記述のご意見

今回の学校評価アンケートでいただいた全てのご意見は、教職員で共有し、今後に生かしていけるようにします。今後とも何かご不明点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

・児童の学校生活について・・・

→児童は、毎日の学校生活の中でいろいろなことを学び、経験しています。楽しいこともあれば、時には困ることがおこることもあり、その中で児童は日々成長しています。今後も児童が楽しく学校生活を過ごすことができるよう、保護者の皆様と相談をし、連携を図りながら全教職員で取り組んでいきたいと思っています。

・ホームページについて、

→ホームページでは児童の学習や学校生活の様子、また学校の取組などをお伝えしています。今後もいろいろな学年の児童の様子を発信していきたいと思っています。

・授業参観について・・・

→授業参観については今年度5回を予定しています。既に1学期に2回実施し、2学期以降は、9月、1月(人権参観)、2月(学習発表参観)を予定しています。今後もいろいろな教科での児童の学んでいる姿を見ていただきたいと思います。

昨年度の後期より回答していただいた保護者の方の割合が増えたことをうれしく感じております。「学校評価アンケート」は、学校の教育活動について皆様のご意見をお聞きし、これからの学校教育活動に活用するものです。後期学校評価のご回答にもご協力お願いします。